



お江戸舟遊び瓦版 1094号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

屋上菜園瓦版サマーオレンジの葉替わりは間違いでした！

改めて葉替わりの変化と周辺の葉替わり等成長を追跡してみたいと思う。植物の成長はあまりにも不思議だ。今年のカイガラムシも従来の平年よりも早い感じた。梅は満開が過ぎたが、昨年はカイガラムシで実がならなかった。カイガラムシが樹液を吸い、アリが木を上り下りし、栄養を運んでいた。カイガラムシとアリの共生はあまりにも不思議なドラマと感じざるを得ない。



サマーオレンジの葉の代替わりに注目した。親葉の下に若葉が見え出し、親葉が消えて、若葉が大きくなる。不思議なドラマ！

月日	フジ	サマーオレンジ
4/5		
4/10		
4/20		

	ウメ	イチゴ
4/5		
4/10		
4/20		

生物の一生を不思議な物語というのが適当かどうか不明だが、種をまくと芽を出し
 ずくずくと育ってくる。小さな芽の段階では昆虫などに食べられてしまうことも多
 い。昆虫や鳥についても成長期にあった昆虫や鳥が飛来してくる感がある。その一々
 を見続け観察することがないので、本当の姿や生態を知っているわけではないが、昆
 虫や鳥が受粉に一役買っているのも興味が尽きない。

フジについてみると花が咲くと最初はミツバチがやって来るが、直後にはクマンバ
 チがこの場所は俺の縄張りだとばかりに飛んだり、ホバリングして、他の飛来をさせ
 ないようにしている。花が終わると、もういない。

サマーオレンジは、一昨年は実が20個もなったためか、昨年は花も咲かなかった。
 今年は枯れてしまうのではないかと考えていたので、注目し先の葉替わりを予想した
 が全く間違っていた。枝の所から小さな芽が生まれ、徐々に大きくなり、花芽も。今
 年は期待できるのかも知れない。イチゴとジャガイモが成長している。猛暑により全
 滅してしまうか興味は尽きない。国連事務総長が心配する地球温暖化・絶滅が懸念？